

改訂後の新たな対応方針に係る意見収集実施について（案）

1．趣旨

これまで、SPEED'98改訂ワーキンググループでは各方面から活発な議論をいただき指導・助言を得てきた。改訂後の新たな対応方針は環境省から広く国民にパブリックコメントを求める予定である。しかしながら、現在、各自治体等から別紙のとおり内分泌攪乱化学物質対策への多くの要望が寄せられていることを踏まえ、原案作成の段階から幅広く国民の意見を収集し、改訂後の新たな対応方針に策定の参考とするものである。

2．意見収集の項目

SPEED'98の改訂にあたり、内分泌攪乱化学物質問題に対し、どのように認識しているのか、どういう危惧を持っているのか、何が課題であると考えているのかについて聴取する。

また、各自治体の環境部局等担当者に対しては、併せて内分泌攪乱化学物質問題に関する環境省と自治体との役割分担のあり方についても聴取する。

3．意見収集の対象

本ワーキンググループの中で消費者の立場として参画、御意見をいただいている有田芳子委員（全国消費者団体連絡会事務局）、内分泌攪乱化学物質問題検討会に参画いただいている村田幸雄委員（（財）世界自然保護基金ジャパン・シニア・オフィサー）他1名から意見収集をすることとしたい。

また、要望書を提出した自治体や化学物質対策に積極的な自治体等に対して事務局がヒアリングを行いワーキンググループに報告する。

4．実施時期等

第7回改訂ワーキンググループにて、有田委員、村田委員他1名から御意見（各15分程度）をいただく。なお、自治体等へのヒアリングは、第7回改訂ワーキンググループ開催までに実施することとし、可能であればワーキンググループ委員も事務局に御同行いただきヒアリングに御参加いただく。

内分泌攪乱化学物質問題に係る自治体等からの要望 (H16.4～8)

～主な要望～

評価基準、リスク評価指針、環境基準、等の設定

財政支援

人・生態系への影響、作用メカニズムの解明に関する研究の推進

情報提供の推進

都道府県議会、知事会等

- ・四国地方知事会 環境調査の実施、環境基準等の設定、財政措置
- ・九州地方知事会 環境基準等の設定、情報提供、リスク評価手法の開発
化学物質リスクコミュニケーションの充実
- ・全国都道府県議会議長会 調査の充実、リスク評価、規制対策
- ・北海道・東北六県議会議長会 調査の充実、リスク評価、規制対策、財政支援
- ・全国環研協議会 測定分析に係る指針等の策定、検出下限値算出方法の統一

都道府県知事

- ・岩手県知事 財政支援制度の拡充、情報提供のための必要な施策
- ・東京都知事 影響に関する調査研究の推進、早急なリスク評価、指針策定
財政支援
- ・神奈川県知事 影響に関する調査研究の推進、自治体への情報提供、規制措置
- ・茨城県知事 環境リスク評価手法の開発、環境基準・評価基準の設定
- ・埼玉県知事 作用メカニズムの解明、リスク低減の手法確立、情報提供
- ・栃木県知事 影響に関する調査研究の推進、リスク評価基準の整備、
財政・技術的支援
- ・静岡県知事 評価基準の設定、総合的な対策確立
- ・愛知県知事 国が行う調査の拡充、影響に関する調査研究の推進、
財政支援、
- ・山梨県知事 作用メカニズムの解明、無影響濃度の設定
- ・富山県知事 作用メカニズムの解明、環境リスク管理
- ・兵庫県知事 作用メカニズムの解明、リスク評価の確立、情報提供、財政支援
- ・岡山県知事 環境基準・指針値の設定、簡易で安全な測定法の確立、
実効ある排出抑制対策、財政支援

都道府県関係部局

- ・東京都生活文化局長 影響に関する調査研究の推進、自治体への情報提供
リスク評価の推進、指針・環境基準の設定

市町村

- ・全国市長会 影響に関する調査研究の充実、（環境教育）
- ・京都市 調査研究の充実

その他

- ・全国内水面漁場管理委員会連合会
水生生物に与える影響調査、水質等環境実態調査の推進